



LIXIL

Z-A001-NRAA

はじめにお読みください**HEMS みるる 基本セット 初期設定ガイド**

「HEMS みるる 基本セット 初期設定ガイド」は HEMS みるる 基本セットを最初にお使いになるときの流れが簡単にわかるガイドブックです。詳しい説明は別冊の取扱説明書 HEMS 設定・操作編をご覧ください。

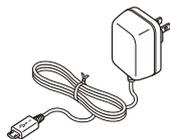
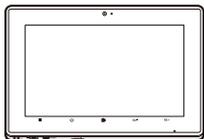
機器構成**■専用タブレット端末一式**

□専用タブレット端末：1台

□ACアダプター：1個

□microSDメモリーカード
スロット保護カード：1個

□充電端子保護カバー：1個

※microSDメモリーカードスロットに
装着されています。※ACアダプターに装着されています。
※ACアダプターからははずさないでください。**■中継器一式**

□中継器：1台

□外部アンテナ：1個

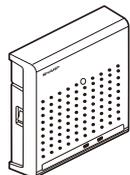
□ACアダプター：1個

□LANケーブル (1m)：1本

**■多回路 CT センサーユニット一式 (施工業者によりあらかじめ設置されています)**

□多回路 CT センサーユニット：1台

□CT センサー



30A用：3本



20A用：2本

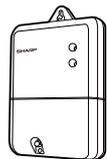


主幹用：1セット (2本)

■送信機一式 (施工業者によりあらかじめ設置されています)

□送信機：1台

□ACアダプター：1個

**■その他**

□HEMS みるる 基本セット 初期設定ガイド (本書)：1部

□取扱説明書 HEMS 設定・操作編 (以降、HEMS 編)：1部

電力、ガス、水道の使用量を見るための設定や見かたが書いてあります。

□取扱説明書 専用タブレット端末編 (以降、端末編)：1部

専用タブレット端末で、メールやカメラを使う方法が書いてあります。

□保証書：1部

□電波干渉に関するご注意シール：1部

●無線 LAN 対応ブロードバンドルーター及び microSD メモリーカードは付属されておりません。

無線 LAN 対応ブロードバンドルーター及び microSD メモリーカードはお客様でご用意ください。

※専用タブレット端末のバッテリーは端末内に内蔵されており、お客様自身では交換できません。

※本製品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

本書の表記について**■タップ について**

オプションのタップと区別するため、専用タブレット端末のタップ操作をタップ と表記しています。

■画面上のボタンについて

画面上に表示されるボタン、アイコン、タブは、[] で囲んで表記しています。

例) [OK] をタップ します。

■本書では、無線 LAN 対応ブロードバンドルーターのことを、無線 LAN ルーターと表記しています。

■本書では、取扱説明書 HEMS 設定・操作編のことを、HEMS 編、取扱説明書専用タブレット端末編のことを、端末編と表記しています。

■ご用意いただくもの

□無線 LAN 対応ブロードバンドルーター



※無線 LAN 対応ブロードバンドルーターとは、家庭内に無線 LAN 環境を構築するための機器です。

次の3つは、準備しておくこと設定の際に便利です。

- 電力会社からの電気料金明細書等、電気料金がわかるもの
- ガス会社からのガス料金明細書等、ガス料金がわかるもの
- 水道局からの水道料金明細書等、水道料金がわかるもの

■ご確認くださいこと

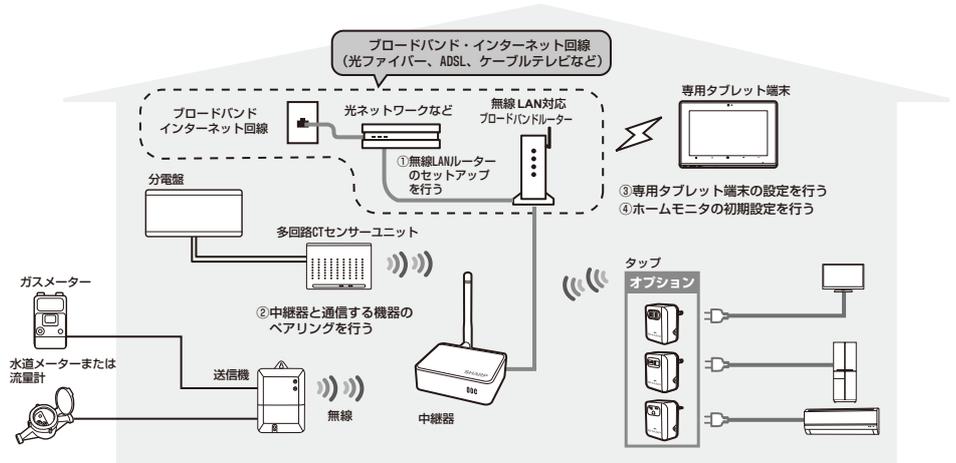
取扱説明書 HEMS 設定・操作編の 168～170 ページが記入されていない場合は、販売店にご連絡ください。

- CT センサー対応表
- 送信機 (ガス・水道) 対応表

全体の流れ

以下の手順で、HEMS みるる 基本セットを設定します。

- 1 無線 LAN 対応ブロードバンドルーター（以降、無線 LAN ルーター）のセットアップを行う
- 2 中継器と通信する機器のペアリングを行う
(※ HEMS 編 31 ~ 38 ページ)
- 3 専用タブレット端末の設定を行う
(※ HEMS 編 40 ~ 54 ページ)
- 4 ホームモニタの初期設定を行う
(※ HEMS 編 55 ~ 83 ページ)



1 無線 LAN ルーターのセットアップを行う

ご家庭ではパソコンでインターネットをご利用されていますか？
インターネットが利用できると、パソコンで Yahoo! などのホームページが閲覧できます。

はい

インターネット回線の開通工事の際に工業者が設置した機器（モデムあるいは光回線終端装置など）にルーター機能がありますか？

※分からない場合はご契約の回線業者（NTT 東日本 / 西日本、ケイ・オプティコム、J:COM など）にルーター機能の有無についてお問い合わせください。
※ルーター機能とは、複数のネットワーク機器を同時に利用するための機能です。

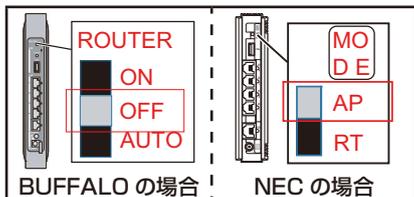
いいえ

はい

いいえ

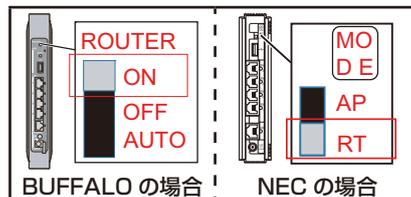
ご用意いただいた無線 LAN ルーターのルーター機能を「無効」に設定します

例) 無線 LAN ルーター背面（底面）の ROUTER スイッチを「OFF」(BUFFALO の場合)、もしくは MODE スイッチを「AP」(NEC の場合) に設定します。



ご用意いただいた無線 LAN ルーターのルーター機能を「有効」に設定します

例) 無線 LAN ルーター背面（底面）の ROUTER スイッチを「ON」(BUFFALO の場合)、もしくは MODE スイッチを「RT」(NEC の場合) に設定します。

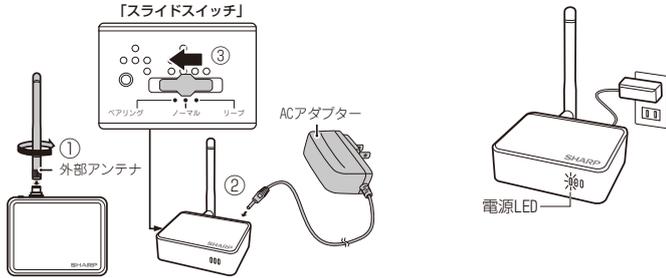


※無線 LAN ルーターの機種によって設定方法が異なります。詳しくはご用意いただいた無線 LAN ルーターの取扱い説明書をご参照ください。

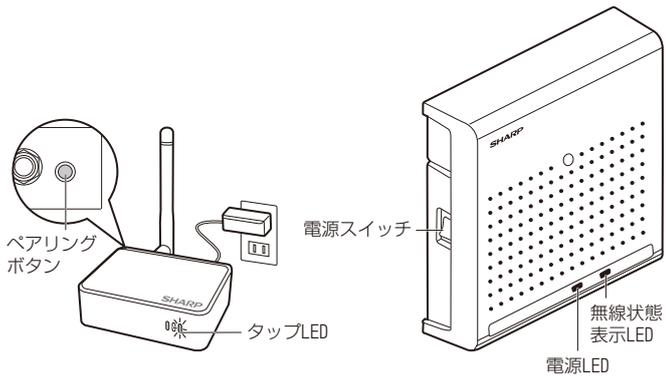
② 中継器と通信する機器のペアリングを行う

ペアリングとは、使用環境に合わせて、中継器と通信を行う機器（多回路 CT センサーユニット、送信機）の無線の設定を行い、通信ができるように設定することです。

1. 無線 LAN ルーターの AC アダプターを家庭用 AC コンセントにさす
2. 中継器を用意し、多回路 CT センサーユニットと送信機の設置場所を確認する



3. 中継器の外部アンテナを中継器に接続する（上図①）
外部アンテナを時計まわりに回してから立てます。
4. 中継器に AC アダプターを接続する（上図②）
5. 中継器のスライドスイッチをペアリング（左端）にする（上図③）
6. 中継器の AC アダプターを家庭用 AC コンセントにさす
中継器の起動には約 20 秒かかります。電源 LED のみ点灯していることを確認し、手順 7 へ進んでください。



7. 中継器のペアリングボタンを押す
タップ LED が普通点滅（0.5 秒間隔）します。
60 秒以内に手順 8 へ進んでください。
8. 多回路 CT センサーユニットの電源を入れる
電源 LED が点灯
↓
無線状態表示 LED が普通点滅（0.5 秒間隔）
↓
無線状態表示 LED が消灯 → ペアリングができました

<注意>

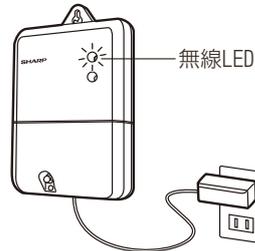
- ※ 無線状態表示 LED が高速点滅（0.25 秒間隔）した場合、ペアリングできていません。多回路 CT センサーユニットの電源を一度切り、再度手順 7 から行ってください。
- ※ 多回路 CT センサーユニットがペアリングしにくい場合は、中継器を多回路 CT センサーユニットの近くにもっていき再度手順 7 からペアリングを行ってください。

9. 多回路 CT センサーユニットが 2 台ある場合は、同様に手順 7、8 を行う



10. 中継器のペアリングボタンを押す

中継器のタップ LED が普通点滅（0.5 秒間隔）します。
60 秒以内に手順 11 へ進んでください。



11. 家庭用 AC コンセントに、送信機の AC アダプターをさす

すでに AC アダプターがささっている場合は、一度抜いてからさしてください。

無線 LED が普通点滅（0.5 秒間隔）

↓
無線 LED が点灯 → ペアリングができました

<注意>

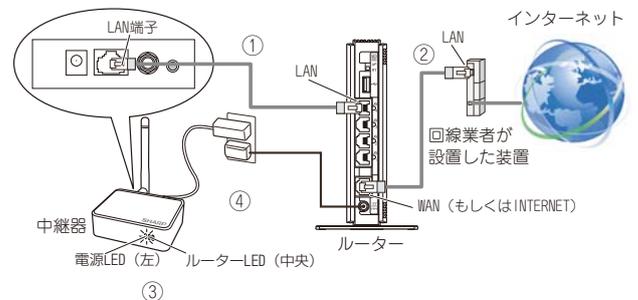
- ※ AC アダプターをさしても無線 LED が点滅せずに消灯している場合は、AC アダプターを一度抜いてからさし直してください。
- ※ 無線 LED が高速点滅（0.25 秒間隔）した場合、ペアリングできていません。送信機の AC アダプターを一度抜いて、再度手順 10 から行ってください。
- ※ 送信機がペアリングしにくい場合は、中継器を送信機の近くにもっていき再度ペアリングを行ってください。

12. タップをお持ちの場合は設定を行う

HEMS 編 36 ~ 37 ページを参照してください。

13. 中継器のスライドスイッチをペアリング（左端）からノーマル（中央）にスライドする

14. 下図のように接続されていない場合は、①～④を行う



- ① 中継器の“LAN 端子”の差込口とルーターの“LAN”の差込口に、それぞれ LAN ケーブルをさす。
- ② 回線業者が設置した機器がある場合、回線業者が設置した機器の“LAN”の差込口と、ルーターの“WAN (もしくは INTERNET)”の差込口に、それぞれ LAN ケーブルをさす。
- ③ 中継器の電源 LED とルーター LED が点灯していることを確認する。
- ④ 無線 LAN ルーターと中継器を 30cm 以上離れた場所に設置する。

③ 専用タブレット端末の設定を行う

■専用タブレット端末の準備をする

お買いあげ時には、十分に充電されていません。初めてお使いになるときは充電してご使用ください。
充電は、付属の AC アダプターを使用してください。



危険

・ AC アダプターは、必ず指定のものを使用してください。指定以外の AC アダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。



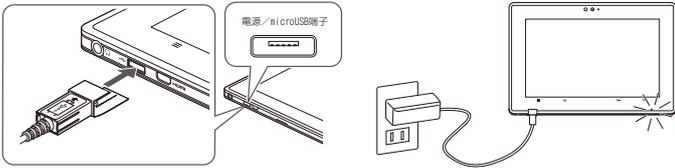
警告

・ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。そのまま充電し続けると、火災の原因となります。

※専用タブレット端末とパソコンが接続されている場合、LED ランプが点灯していても充電されず、バッテリーが消費される場合があります。

1. 専用タブレット端末を充電する

充電端子保護カバーを付けた状態で、AC アダプターのコネクターを専用タブレット端末の電源 / microUSB 端子にさしこみます。
コネクターの向きを確認し、水平にさしこんでください。

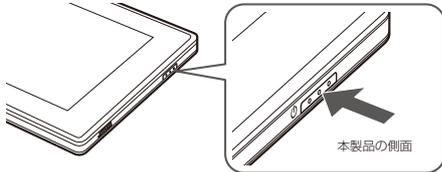


AC アダプターの電源プラグを家庭用 AC コンセントにさしこみます。
専用タブレット端末の前面にある LED ランプが次のようになります。

充電中 : 青色に点灯
充電完了 : 消灯

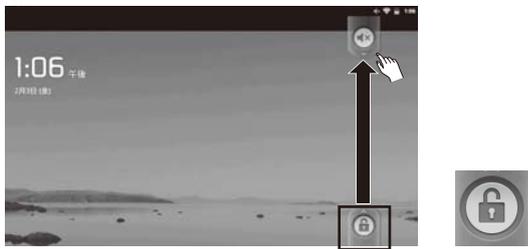
2. 電源を入れる

電源スイッチを約 1 秒押します。
専用タブレット端末の起動には、数十秒かかります。



3. タッチパネルロックを解除する

専用タブレット端末の電源スイッチを押したときには、タッチパネルが作動しないようになっています。
タッチパネルが作動しない場合、タッチパネルロックアイコンを上方向にドラッグしてください。
※ドラッグとは画面に触れたまま目的の位置までなぞる操作です。



タッチパネルロックアイコン

※専用タブレット端末を 60 秒以上操作しないと、画面表示が消えてスリープモードになります。電源スイッチを押すと、画面が表示されますので、タッチパネルロックを解除してください。

4. 日付と時刻を設定する

ホーム画面でメニューキー☰ → [設定] → [日付と時刻] をタップします。
※タップとは画面に軽く触れて、すぐに指を離す操作です。

●インターネットに接続している場合

「自動」のチェックボックスをタップし、チェックを入れ、「自動」に設定します。

●インターネットに接続していない場合

- 1 「自動」のチェックボックスにチェックが入っているときは、「自動」のチェックをはずします。
- 2 「日付設定」で、現在の年月日を設定します。
- 3 「時刻設定」で、現在の時刻を設定します。

■無線 LAN 接続設定を行う



5. ホーム画面で、ランチャーアイコンをタップする



ランチャーアイコン



6. [無線 LAN 簡単登録] をタップする



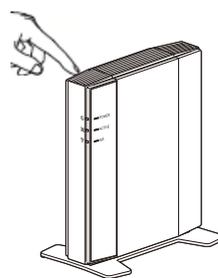
7. 「簡単登録プッシュボタン方式」を選択する



無線 LAN がすでに ON になっている場合は、「無線 LAN 簡単登録を行っている間 Wi-Fi を OFF にします。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。[はい] をタップします。
無線 LAN を OFF にする間、「処理中」というメッセージが表示されますので、しばらくお待ちください。



8. 画面に「アクセスポイントの WPS ボタンを押してください」というメッセージが表示されたら、お手持ちの無線 LAN ルーターの WPS ボタンを押す



BUFFALO の場合は AOSS ボタン、NEC の場合ははらくらくスタートボタンを押し続けてください。
ランプが点滅したら離してください。
ランプが点滅している間に専用タブレット端末の画面の [開始] をタップしてください。

※無線 LAN ルーターの製造元によって WPS ボタンの位置や名称が異なります。WPS ボタンの名称や位置については、無線 LAN ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。

※ WPS ボタンがない場合やどうしてもできない場合は、「手動で設定する」(HEMS 編 52 ページ)を行ってください。



「処理中」というメッセージが表示されたら、しばらくお待ちください。
(約 10 秒～ 2 分程度)



9. 「接続情報を登録しました」というメッセージが表示されたら、[OK] をタップする
無線 LAN の接続が完了しました。

「アクセスポイントが検出できませんでした。」と表示された場合は、[OK] をタップし、無線 LAN ルーターの近くで手順 6 からやり直してください。

4 ホームモニタの初期設定を行う

■ 準備を行う

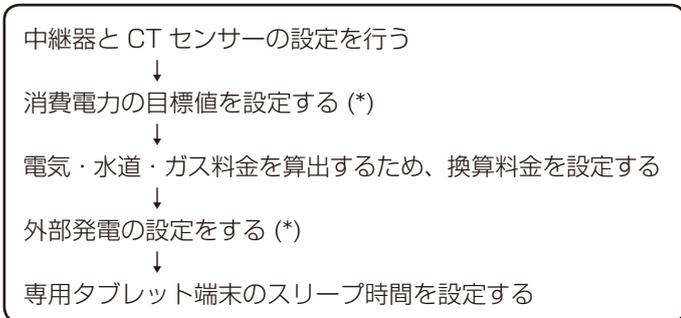
- CT センサー対応表 (☞ HEMS 編 168、169 ページ)、送信機 (ガス・水道) 対応表 (☞ HEMS 編 170 ページ) が記入されていることをご確認ください。記入されていない場合は、販売店にご連絡ください。
 - 専用タブレット端末の日時が正しく設定されていることを、必ず確認ください。(☞ HEMS 編 54 ページ) ステータスエリアの右側に時刻が表示されています。ステータスエリアをロングタッチすると、ステータスエリアの左側に日付が表示されます。
- ※ ロングタッチとは、画面に指を触れた状態を保つ操作です。

<注意>

※ 日時を正しく設定しないと消費電力などのグラフが正しく表示されません。

■ 設定を行う

以下の順番で設定を行います。



(*) は、スキップして次の設定に進むことができます

<注意>

※ 設定の操作の中で、設定を反映する前にホームキー やバックキー を押すと設定内容が反映されません。

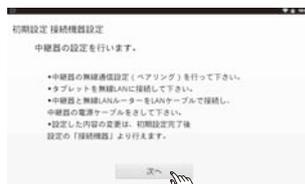


1. ホームモニタのアプリケーションをタップする
ホームモニタが起動します。



2. 初期設定画面に移行するので、[次へ] をタップする

■ 中継器と CT センサーの設定を行う



3. [次へ] をタップする
中継器の設定の画面に移行します。表示されている注意事項を確認してください。



4. [自動検出] をタップする



「中継器が見つかりました」というメッセージが表示されます。中継器が 2 台以上検出された場合や中継器が検出されなかった場合、☞ HEMS 編 108 ページを参照ください。



5. 設定したい中継器を選択し、[詳細設定] をタップする



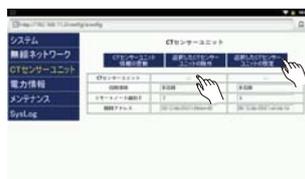
外部アプリケーションで中継器設定画面を起動します。ログイン画面が表示されたら初期設定時の名前 : root
初期設定時のパスワード : root を入力し、[OK] をタップします。



6. [システム] → [時刻] をタップし、現在の日時と合っているかを確認する
設定のしかたは「中継器の日時を設定する」(☞ HEMS 編 125 ページ) を参照してください。



7. [CT センサーユニット] をタップする



8. 設定を行う多回路 CT センサーユニットのラジオボタンにチェックを入れ、[選択した CT センサーユニットの設定] をタップする
※ [選択した CT センサーユニットの設定] が表示されない場合、多回路 CT センサーユニットを再度ペアリングしてください (☞ HEMS 編 34 ページ)。

CTセンサー対応表 (☞ HEMS 編 168、169 ページ) の記載内容を設定します。

CTセンサー対応表 1台目

| [設置位置: 左] | | [製造番号: 2AE0001SA] | | | |
|---|----------|---------------------|-----------|------|------------|
| 主幹選択: 主幹(60A) ・ 主幹(100A) ・ 主幹なし | | | | | |
| ポート4とポート5の測定方法選択: 各分岐測定 ・ 単相三線測定 | | | | | |
| ポート6とポート7の測定方法選択: 各分岐測定 ・ 単相三線測定 | | | | | |
| ポート8とポート9の測定方法選択: 各分岐測定 ・ 単相三線測定 | | | | | |
| ポート | 系統(電圧) | 使用状況 | 測定電圧 | 測定方向 | エリア/機器/発電機 |
| ポート1 | 主幹(60A) | 使用する | — | — | — |
| ポート2 | 主幹(60A) | 使用する | — | — | — |
| ポート3 | 分岐1(30A) | 使用する | 100V・200V | 消費 | エリア・機器(発電) |



9. 主幹について、[主幹 (60 A)] または [主幹 (100 A)] または [主幹なし] を選択します。

10. 分岐ブレーカーのポートについて、[各分岐測定] または [単相三線測定] を選択します。

11. ポート3～10の中で [単相三線測定] 以外のポートについて「使用状況」、「測定電圧」、「測定方向」を設定します。

12. [設定変更] をタップします。



13. バックキーを複数回タップする
中継器との接続画面 (手順 14 の画面) まで戻ります。
※ [設定変更] をタップした後ですので、設定は反映されています。



14. 「次へ」をタップする



15. 専用タブレット端末に設定されている日時と、現在の日時が合っていない場合は、[はい (設定画面を開きます)] をタップし、日時設定を行う (☞ HEMS 編 54 ページ)

正しく設定されている場合は、[いいえ] をタップします。



16. [CTセンサー] をタップする
中継器とペアリングされている多回路 CT センサーユニットの画面が表示されたら、「とじる」をタップします。



17. [1/主幹] を選択し、[設定] をタップする主幹を設定する
※ [1/主幹] の数字はペアリング順につけられた連番です。(☞ HEMS 編 66 ページ) 設定したい主幹を選択してください。

分岐ブレーカーに接続している CT センサーの設定を行います。CT センサー対応表 (☞ HEMS 編 168、169 ページ) に記載の内容を設定します。

| 系統(電流) | 測定方向 | エリア/機器/発電機 | 階/部屋 |
|----------|------|---------------|----------------|
| 分岐1(30A) | 消費 | エリア・機器() | 階: 1F 部屋: リビング |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |
| 分岐2(30A) | 消費 | エリア・機器() | 階: 2F 部屋: 寝室 |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |
| 分岐3(30A) | 消費 | エリア・機器 エアコン | 階: 部屋: |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |
| 分岐4(20A) | 消費 | エリア・機器() | 階: 部屋: |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |
| 分岐5(20A) | 消費 | エリア・機器() | 階: 部屋: |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |
| 分岐6(20A) | 消費 | エリア・機器() | 階: 部屋: |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |
| 分岐7(20A) | 消費 | エリア・機器() | 階: 部屋: |
| | 発電 | 太陽光発電・外部発電() | — |

「測定方向」、「エリア/機器/発電機」の記載内容によって、選択する項目が変わります。

A. 「測定方向」に「消費」、「エリア/機器/発電機」に「エリア」が選択されている場合
CT センサーは部屋全体の分岐ブレーカーに接続されています。

B. 「測定方向」に「消費」、「エリア/機器/発電機」に「機器」が選択されている場合
CT センサーは家電機器専用の分岐ブレーカーに接続されています。

C. 「測定方向」について「発電」が選択されている場合
CT センサーは発電機の分岐ブレーカーに接続されています。

※「測定方向」について何も選択されていない場合
設定画面内に表示はありますが、設定をする必要はありません。

※手順 18～23 は、A. 「測定方向」に「消費」、「エリア/機器/発電機」に「エリア」が選択されている場合の操作方法です。

A. の場合について、設定します。
階や部屋の一覧に設定したい名前が無い場合、新規入力もできます。(☞ HEMS 編 127 ページ)



18. CT センサー対応表の「系統(電流)」の分岐番号をもとに機器を設定する分岐の行をタップする

※設定する多回路 CT センサーユニットの電源を入れなおすと、該当する多回路 CT センサーユニットの行がハイライトします。多回路 CT センサーユニットが 2 台ペアリングされている場合、電源を入れなおすことで設定する多回路 CT センサーユニットの区別がしやすくなります。

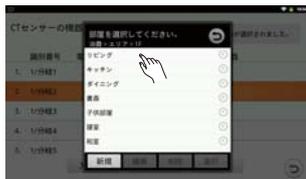


19. 「消費」を選択する



20. 「エリア」を選択する

21. 階を選択する
CT センサー対応表の「階」の情報を設定します。
階の一覧から階を選び、[選択]をタップします。
※一覧を上下にドラッグすることで、全体を表示できます。



22. 部屋を選択する
CT センサー対応表の「部屋」の情報を設定します。
部屋の一覧から部屋を選び、[選択]をタップします。
さらに選択する部屋の一覧が表示されますので、タップします。



23. 設定の途中で設定内容を反映させる場合、[設定]をタップします。

24. B の場合について、設定する

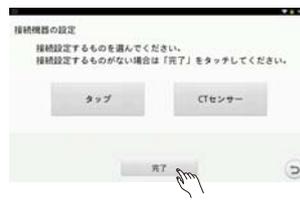
「消費」→「機器」→階を選択→部屋を選択→機器を選択→[設定]の順に設定します。(☞ HEMS 編 70 ページ)

25. C の場合について、設定する

「発電」→「太陽光発電」または「外部発電」の順に設定します。(☞ HEMS 編 72 ページ)

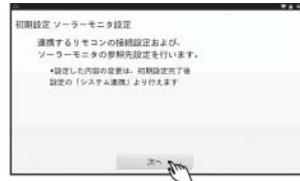
26. 全ての CT センサーについて設定したら、設定内容を確認し、[完了]をタップする

■タップの機器設定



27. タップをお持ちでない場合、[完了]をタップする

タップをお持ちの場合は、[タップ]をタップします。「タップの機器設定」(☞ HEMS 編 74 ページ)を参照し、設定してください。

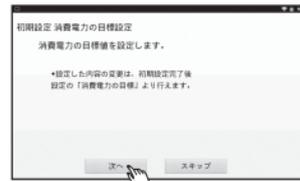


28. ソーラーモニタ設定の画面が表示されたら、[次へ]をタップする

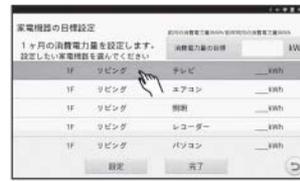
次の画面では [いいえ] をタップします。

■消費電力の目標値を設定する

CT センサーまたはタップで測定する家電機器の消費電力量の目標値や、家全体のピーク消費電力の目標値を設定します。

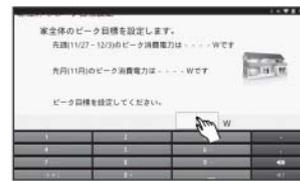


29. [次へ]をタップする
消費電力の目標設定を行わない場合は、[スキップ]をタップします。



30. 家電機器ごとの消費電力量の目標値を設定する

設定後、[完了]をタップします。(☞ HEMS 編 77 ページ)



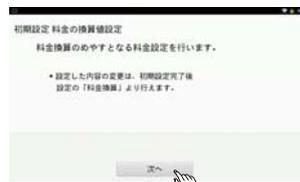
31. 家全体のピーク目標値と消費電力量目標を設定する

設定後、[完了]をタップします。(☞ HEMS 編 78 ページ)

■電気・水道・ガス料金を算出するため、換算料金を設定する

設定された換算料金にもとづいて電気料金のめやす額が算出されます。

時間帯別電灯契約をしている場合は時間区分と時間区分ごとの金額を設定します。時間帯別電灯契約とは、時間帯によって電気料金が変わる電気料金契約です。



32. [次へ]をタップする



33. 基本料金、時間区分、時間区分ごとの金額を設定して、[完了]をタップする

電気料金がかかるものを参照して設定してください。
確認画面「設定内容を反映し完了しますか?」で [はい] をタップします。

換算料金にもとづいたガス料金と水道料金のめやす額が算出されます。



34. 送信機（ガス・水道）対応表に記載の内容をもとに、ガスと水道の計測方式を設定する

設置工事で記入された送信機（ガス・水道）対応表（HEMS 編 170 ページ）の内容を確認しながら設定してください。

送信機（ガス・水道）対応表（HEMS 編 170 ページ）

| | | | |
|----------|------|-----------------------|---------|
| ガスの計測方式: | 接続なし | パルス方式 (パルスレート: 0/パルス) | 電文方式(後) |
| 水道の計測方式: | 接続なし | パルス方式 (パルスレート: 0/パルス) | 電文方式(後) |

●接続なしの場合

「接続なし」を選択します。

●パルス方式の場合

「パルス方式」を選択し、パルスレートの値を入力します。

●電文方式の場合

「電文方式」と表示されていることを確認します。

※送信機（ガス・水道）対応表と相違がある場合は、販売店にご連絡ください。



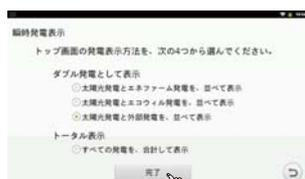
35. ガスと水道の基本料金と従量料金のめやすを設定する

計測方式が接続なしの場合には、設定する必要はありません。ガス料金、水道料金が分かるものをもとに、基本料金と従量料金を設定します。（HEMS 編 81 ページ）

36. [完了] をタップする

■外部発電の設定をする

外部発電を使用している場合、トップ画面の発電電力の表示をお使いの発電機に合わせて設定します。

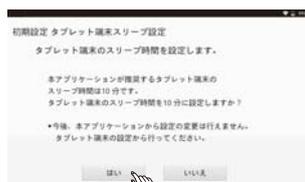


37. [次へ] をタップします。瞬時発電表示設定を行わない場合は、[スキップ] をタップします。

38. トップ画面の発電表示方法を選択し、[完了] をタップする

■専用タブレット端末のスリープ時間を設定する

専用タブレット端末のスリープ時間を 10 分にするか否かを設定します。10 分に設定しない場合、専用タブレット端末で設定されているスリープ時間（1 分）になります。



39. 端末スリープ時間を 10 分にする場合は、[はい] をタップする

[完了] をタップします。



初期設定が終了し、ホームモニタのトップ画面が表示されます。

ホームモニタの見かた

全ての設定が完了すると、現在の家全体の消費電力、ガス・水道の使用量を見ることが出来ます。（HEMS 編 86 ページ）

■トップ画面の表示例



お知らせを確認する
設定されたピーク電力を超えたときに節電効果促すなど、お知らせメッセージが発生したときに確認できます。

ソーラーモニタを確認する
過去の発電量、売電/買電量、消費量などを確認できます。

ガス・水道モニタを確認する
ガス、水道の使用量を確認できます。

家電モニタを確認する
機器ごと、部屋ごと、家全体の消費量を確認できます。

■さまざまな使用量の表示例

計測している電力やガス・水道の使用量が、数値やグラフで表示されます。画面はその一例です。

●家電機器ごとの消費電力



●ガス・水道使用量グラフ



●部屋別の消費電力



●過去の消費電力との比較



●部屋別の家電機器の消費電力



●家全体の消費電力グラフ

